

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 はっぴーone号		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 7日		～ R8年 1月31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36家庭	(回答者数) 30家庭
○従業者評価実施期間	R7年11 月1 日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士が多く在籍しており、子どもの発達段階を理解しているため、個々にあった支援を行えている。また、活動内容も幅広いものを提供できている。	職員会議棟で支援プログラムを話し合い、固定化されないよう意見を出し合い決定している。	今後も職員会議等でプログラムを検討する中で、言語聴覚士の意見なども取り入れながら専門性のあるプログラムを作成していく。
2	言語聴覚士が在籍しており、言葉やコミュニケーションで困り感を感じているお子さんへの個別・小集団での言語療法を行うことが出来ている。	小集団・個別で言語療法を行い、子どもたちが楽しみながら、必要な力を育めるよう支援を行っている。	引き続き、個別・小集団の言語療法を行っていく。また、言語聴覚士が主となって行う活動なども検討していきたい。
3	事業所で発達検査を行える。		保護者様からのご希望がございましたら、実施させていただきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ケガや体調不良等の処置や対応の研修を受けた職員が在籍しているが、看護師の在籍はない。	研修を受けた職員がいる為、基本的な処置や対応はできる。判断に迷った際は、他事業所に在籍している看護師に見てもらおうなどの対応をしたい。	数名の職員ではなく、職員全員が処置や対処の仕方を学べるよう研修等を行っていく。緊急時は、保護者様との契約時に確認をしたかかりつけ医や協力医療機関へ受診できるよう把握を行う。
2	スペースや設備に制限があり、個別対応が難しい場面がある。	事業所の構造や活動スペースに限りがあり、個別のニーズに十分に対応できない場面がある。	パーティションを使用し、空間を区切り子どもたちが安心してできるスペースを作るなど環境設定を行えるよう努める。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所 はっぴーone号		公表日 R8年 2月 24日				利用児童数 36	回収数 30
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	4		5	・新しい施設が楽しみです。 ・いつか見学をさせていただきたいです。	・いつでもご見学可能です。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	3		7	・児童数に対して丁度よい。	・手厚い支援が出来るよう心掛けています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	4		7	・見学したところ特に気になりませんでした。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	3		7	・いつも綺麗です。	・今後も清潔に保ち、利用者様が過ごしやすい環境を作ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1		1	・利用させていただく度に発語が増えているのを感じています。 ・言葉もですが、行動の部分で成長が見られ、嬉しく思います。	・職員一同、学び続けて子どもたちの成長に繋がる支援をさせていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29			1	・毎度、丁寧に記録して下さりとても分かりやすいです。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28			2	・通所して日が浅くわかりませんが、相談に乗ってもらったり安心感があります。 ・娘の行動をよく見て下さり、気持ちの理解を強く感じます。	・利用者様やそのご家族様の気持ちに寄り添った支援をさせていただきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29			1	・ハードルの低いところからコツコツと進めていけていると思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28			2	・娘に必要な力を育むための支援がとても楽しい内容で行われていると思います。	・今後も利用者様の課題等を適切に把握し、計画を立て支援をさせていただきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30				色々な活動がされていてとてもありがたいです。様々なプログラムが組まれており、毎度楽しむにしています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	3	3	6	・まだ未参加の為、分かりません。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30				・しっかりと丁寧に説明して頂きました。 ・とても丁寧に説明して下さい、分かりやすかったです。	・ご利用していただくにあたって、安心して頂けるよう丁寧な説明に努めます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	4	3	10	・まだ未参加の為、分かりません。	・今後、保護者会などを開催し機会を作ってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28	1		1	・まだ通い始めたばかりで分からない。 ・連絡アプリ等、毎回来しめでありがたいです。 ・しっかりと記録しており、状況が分かりやすいです。	・HUGアプリにて細やかな連絡を心掛け、ご家族様と連携を図らせていただきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	6	2	7	・まだ通い始めたばかりで相談していない。 ・相談した際は丁寧に助言をいただけてありがたいです。	・ご家族様のご相談があった際は迅速に対応できるよう努めます。 ・定期的な面談の機会を設けていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	2		2	・娘に対して心から向き合ってくださいていることが伝わり嬉しいです。	・利用者様が安心して通所できるよう、気持ちに寄り添った支援をさせていただきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	11	4	10	・利用期間が短い為、まだ参加できていません。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1		3	・いつも迅速な対応をありがとうございます。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	1	・アプリが使いやすいです。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28		2	・毎日、利用状況を写真付きで報告して下さりありがたいです。 ・いつも助かっています。	・今後もHUGアプリやお便りにて発信を続けていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	4	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	11		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	3	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	2	3	・まだその状況がないです。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	1	1	・今までで一番良いところだと思っている。兄も通わせたい。 ・いつも楽しそうです。 ・先生方が優しく、安心しているように感じます。	・今後も安心して通所して頂けるよう、職員一同利用者様に寄り添い支援を致します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3		・通い始めたばかりで緊張しているようです。 ・利用を楽しみにしています。今後も継続していきたいと思っています。 ・とても楽しみにしています。 ・とても楽しいようでいつも笑顔で帰ってきます。	・楽しんで通所できるよう、支援内容を工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30			・思っていたより拒否せずに通えていて安心しました。 ・とても満足です。その子に合わせて支援を丁寧にしてきていると思う。 ・いろいろな経験が出来ているなど感じます。 ・送せることや出来ることが少しずつ増えてきており、とても満足しております。	・平素よりはっぴーone号へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。利用者様、そのご家族様に満足して頂けるよう、あたたかい専門性のある支援を心掛けていきます。ご不安なことやご心配なこと等ありましたらいつでもご相談ください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所 はっぴーone号		公表日		R8年 2月 24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	スペースに応じた人数調整を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4	配置適切。1人1人に対応できる人数となっている。	子どもの状態によっては、対応が困難な場合もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9	視覚的な提示を行うなど工夫はしているが、収納がなく子どもたちの注意がそれる環境である。	今後、新しい建物に引越すことで改善されると感じる。視覚的提示を行うなど最善の策を尽くす。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	4	日々、清掃や整理整頓を行っている。	建物の構造上、寒さがある。ヒーターや暖房などを使用し改善に努めている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9	パーティションを使用し、個別の空間が出来るよう工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		9	日々のカンファレンスで振り返りは行い、改善点を話し合っている。	計画性が薄いため、今後は職員会議など使って計画を立てていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	6	現在、第一回目の評価表を配布中。	今回の評価を職員全員で把握し、改善できるよう努めたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年末に職員面談を行う中で職員の意見を把握し、業務改善につなげている。また、今後は年2回職員面談を実施したい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	今回初めて評価表を配布している。	今回の評価を職員全員で把握し、改善できるよう努めたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		事業所内で研修があった際は職員が参加できるよう調整を行っている。 研修を受講した際は報告をし共有することで職員の資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		毎日の内容やチャレンジ課題など、適切に作成されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		日々のカンファレンスで情報共有を行い、利用者様のニーズや課題を理解できるよう努めている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		日々のカンファで気になる子どもさんの情報を共有し支援方法を考えられている。必要な内容など、カンファレンスにて全体共有がある。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	7	急速、予定が入ることが多くカンファレンスに参加できないことが多かった。	全体で支援計画の共有はないが、日々の記録を書く際に目を通して職員も多い。今後はカンファレンスなどで共有し、計画に沿った支援を行いたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	7	日々の記録で具体的なエピソードを残し、職員間で共有している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	6	発達支援、家族支援、移行支援の視点を踏まえ、保護者様のニーズを反映しながら具体的な支援方法を明確に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		職員会議でプログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		一か月の中で、粗大活動、微細活動、感触遊びなどバランスよく取り入れられるよう検討している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別指導（チャレンジ課題）と小集団活動を取り入れ、課題へのアプローチを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		LINE WORKSの活用で前日に打ち合わせができています。打ち合わせと流れを共有して、支援にあたっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		毎日、カンファレンスを行い、利用者様の様子を共有し、支援の統一を図っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		利用者様の行動に対して、支援中の様子や関わり方、要因、今後の支援方法を記載し、次の支援に活かせるよう努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		ご家族様との面談や相談員さんとのモニタリングの中で計画に見直しが必要な場合は修正を行いたい。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が参加するとともに、セラピストや役職者が参加できるようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		契約時に保護者様とかかりつけ医の確認を行っている。また、保育所等訪問を実施し、連携が取れるように努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		移行支援シートを作成し、情報共有ができるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		11月から開所の為、放課後等デイサービスへの引継ぎは行う予定。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9		事業所を開所したばかりで、そのような機会をまだ設けられていない。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9		事業所を開所したばかりで、そのような機会をまだ設けられていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎や連絡帳など多くのツールを使って、共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		事業所を開所したばかりで、そのような機会をまだ設けられていないが、面談などを設けて情報共有を行っていきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に、保護者様に伝わりやすいよう例を示しながらお話するようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	7	担当者会議などのご家族様や利用者様の意向を確認したうえで支援計画を作成している。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		ご家族様に口頭で説明をし、不明な点がないか確認を行ったうえでサインをいただくようにしている。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2	面談や電話など、ご家族の情報に応じて助言を行っている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		9	開所したばかりで、保護者会など実施できていない。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談やご意見があった際は、その日の内に回答ができるよう心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		LINEや毎月のお便りで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報は鍵付きのロッカーで適切に保管をしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		職員間で保護者の人柄など情報共有を行い関わり方や話し方を配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	事業所を開所したばかりで、そのような機会をまだ設けられていない。今後検討していきたい。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		職員会議等で確認を行い、職員が把握し対応できるようにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		災害訓練を中心に、具体的に動いている。	自然災害委員会を中心に実施しており、避難グッズを確認し、十分な備えに繋げていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	2	担当者会議や契約時などでご家族様から利用者様の健康状態について確認を行って安心して過ごせるよう配慮している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	7	現在は食物アレルギーのある利用者様がいらっしゃらない。	アレルギーのある利用者様がいらっしゃらないが、今後アレルギーがある方が通所される際は、ご家族の協力のもと、可能中アレルギー検査結果を共有させていただくようにする。医師の指示書がある際は同様に共有させて頂く。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		9	施設内で危険な場所がないか確認し、危険がある場所にはクッションを貼るなど工夫している。	計画を全て把握できているわけではない。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		9	契約時に避難訓練の実施状況などを説明している。また、感染症や災害時などによる業務策定についても説明を行っている。	安全計画は存在するが、家族周知ができていない。どのようにご家族へ周知するか検討する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットがあったらカンファで報告し対策を検討している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		委員が中心となり、対応など考えられている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1	委員が中心となり、対応など考えられている。		